

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立久木小学校長  
(公 印 省 略)

## 平成 30 年度 「学校関係者評価」 年度末評価について (報告)

次のとおり 平成 30 年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項 目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見 (外部評価者からの指摘を基に記載)
I 授業づくり	① 授業力の向上	子ども達の学習の様子を見ると、授業者の適切な指導の下、学習規律が確立した中での学び合いが成立しており、昨年度までの「創造的・協働的な学び合いをめざして」をテーマとして取り組んだ校内研究の成果が感じられる。今年度からはこの成果を踏まえて、探究的に学習課題に取り組む児童を育てることを目指して、生活科・総合的な学習の時間の授業づくりに取り組んでいるとのことなので、これから先生方の授業がどのように変わっていくのかを楽しみにしている。決められた課題に取り組むだけでなく、子どもたち自らが「やりたい」「知りたい」と課題を見つけ出し、解決しようとする姿が、学校のいたるところで見られるようになることを期待する。
	2 多様な教育活動の充実	
II 集団づくり	① 認め合う集団づくりをめざして	学校生活の様子から、子ども達が先生方のことが大好きであることが伝わってくる。今後も、この関係性を大切にして児童指導に当たってほしい。子ども達のエネルギーの発散から、ある程度のトラブルが発生することは当然のことで、おおらかな気持ちで受け止めてほしい。トラブルの未然防止にばかり囚われて、規律、規則で子ども達をがんじがらめにするだけでは避けてほしい。
III 学校組織づくり	1 支援教育の推進	経験年数の浅い先生が増えているとのことだが、先生方同士で力を合わせて教育活動に当たっている姿が様々な場面で見られるので、教員育成コミュニティの構築は順調に進んでいるといえるのではないかと。地域住民は、久木小学校の子ども達が健やかに成長し、次の時代の地域の担い手として育つことを心から願っており、そのため協力は惜しまないので、大いに活用してほしい。保護者も、育児や仕事に忙しく余裕の無い時期ではあるが、できる範囲での協力はしたいと思っている人がほとんどである。子どもたちを育てていく核となる存在としての学校づくりを目指してほしい。
	2 安全・安心に向けた取り組み	
	③ 研修・研究の充実	
	④ 開かれた学校づくり	

